

県議会11月定例会（11月30日～12月16日）と、この間の活動についてご報告します。

県会議員
山口のりひさの



活動便り



令和3年度一般会計決算認定に反対の討論を行いました。

（詳しくは、裏面をご覧ください）

コロナ対策

〈検査体制〉

薬局等で実施している無料検査（PCR検査、抗原定性キット）を年末で終了する方針の見直しを求め、1月31日まで延長されました。

〈軽症者の対応〉

重症化リスクが低く軽症の人への対応が、見直されています（自己検査・陽性→身近な医療機関へ電話で相談→軽症者登録センターに申請→自宅療養）。療養中の症状の悪化など、健康観察センターや医療機関に確実につながるようただしました。

〈高齢者施設支援〉

高齢者施設でクラスターが多発し、過酷な状況に職員は疲弊、新規入所制限や経費の大幅増で運営がひっ迫しています。施設の減収分の支援を求め、高齢者施設向けの制度の新設を国に要望すると答弁がありました。

（健康福祉委員会・12月14日）

先進医療を視察

山形大学医学部東日本重粒子センターを視察しました。

がん細胞に炭素イオンを照射する重粒子治療は、他の放射線に比べ効き目が強く、正常臓器への負担も軽減。短期間で治療でき、保険適用も拡大しています。

一方、導入経費は150億円と高額で全国でまだ7台、長野県にはありません。

（11月7日）



介護施設（長野県民主医療機関連合会）のみなさんと県健康福祉部との懇談に参加（12月23日）

県立大学生と懇談

長野県立大学の学生と県議会（県立大振興推進議員会議）の懇談会に参加。金田一真澄学長も出席されました。

学生からは大学の教育のあり方や運営、アルバイト、学生生活等に関し率直な意見や要望が出されました。

（12月21日）



保育の質の向上のために

保育をめぐる痛ましい事故や事件が相次ぐなか、その防止策とともに保育士の処遇の改善も指摘されています。4歳児以上30人につき保育士1人など国の定める職員配置基準は70年以上改善されず、重労働や低い賃金で職員不足も深刻です。

保育の質の向上のために、県が現場の実態をきちんとつかむよう指摘し、配置基準の見直し、処遇の改善への取り組みの強化を求めました。

（県民文化委員会・12月12日）

誰もが人間らしく暮らせるように

長野県生活と健康を守る会連合会と、県健康福祉部の定例の懇談会に参加

しました。今回は、同会がかねてから要望していた県営住宅入居の連帯保証人の廃止が実現しました。生活保護行政も、自家用車保有の対応などこの間前進しています。（12月19日）



知事との県民対話集会—飯綱町

飯綱町で開かれた、知事との県民対話集会に参加しました。農や食にかかわる活動や事業に取り組むみなさんが発言。町や地域づくりへの思い、斬新な発想、積極的な提案に学びました。（11月11日）



日本共産党県議会報告

No. 15 2023年1月 【2022年11月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行／日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
TEL 026-237-6266（直通） FAX 026-237-6322
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

